

やまもと

山本のぶゆき

人口減少対策は
「住んで安心」
のまちづくり



「防災・減災」「少子高齢社会」「景気雇用問題」「平和発信」

4の課題解決 チャレンジ10

- ・ 防災・減災ニューディールの推進！
道路・急傾斜地・防波堤護岸のインフラ整備と地籍調査を長期的に推進します。
- ・ 斜面地の避難通路となる車みち整備を伴う推進と空き家・密集した市街地の生活環境を改善します。
- ・ 避難所となる大型建築物の耐震化を推進します。



- ・ 旧城山国民学校被爆校舎等の世界遺産を見据えた文化財指定を推進します。



- ・ 地元商店街の特徴を活かしたプレミアム付き商品券を推進します。
- ・ 財政のムダを無くすフルコストでの新しい公会計導入と人材育成を推進します。



- ・ 未就学児の待機児童ゼロを推進します。
- ・ 小中学校の就学環境の改善と障がい児支援を充実します。
- ・ 高齢者が住みやすい地域包括ケアシステム構築を推進します。
- ・ 公共施設シルバー料金設定等の介護予防事業を充実します。



旧城山国民学校被爆校舎の国登録文化財プレート

やまもと 山本のぶゆき 活動中!!



防災・減災ニューディール！ いのちを守るインフラ整備と 地籍調査を推進しました

道路整備・防波堤護岸の改善や急傾斜地海岸・護岸を防災・減災のために、社会インフラの総点検を行い、改修工事を行いました。また工事を行うために必要な土地の境界を確定するために地籍調査予算の増額を推進しました。



急傾斜地の改善



防波堤護岸の改善

長崎市空き家等の適正管理に関する条例の制定を推進しました

老朽化した危険空き家が放置され、自然災害時や防犯上で問題となっていました。「管理不全な状態の空き家等」に指導・勧告から措置の命令、代執行迄の条例を推進し、平成25年7月1日より施行しています。この条例と既存の空き家補助金を併せて活用し、今後も空家対策を推進してまいります。

密集市街地改善を推進しました

既成市街地の改善を7割が斜面市街地といわれる本市の地形的な特徴の中で、密集した市街地が広がっています。その生活環境改善の進捗は遅れ、住民の高齢化とともに危険な区域となっています。

特に火災時には狭隘な道路のため、消防隊の進入を阻み防災・減災上の改善を必要としていました。



権利者協会の皆様と

その中で南大浦地区拠点地域再生事業を推進し、共同住宅の建替え事業を実現しました。

胃がん撲滅！ 長崎市でのピロリ菌検査実現へ!!

今回、45,286名のピロリ菌検査の実施を求める市民の署名が集まったことを紹介し、市人口の1割を超える市民の皆様が協力してくれたことを強調しました。これに対して、田上市長は、市民署名について、「貴重なご意見として受け取らせていただいた。」とし、胃がんリスク検査としてのピロリ菌検査については、「実施に向けてしっかりと検討していきたい」と答弁しました。



胃がんの撲滅へ！これからも公明党は市民の健康と生命を守るため、懸命に働いてまいります！

城山国民学校被爆校舎等の世界遺産を見据えた文化財指定への推進をしています



城山小学校被爆校舎を始めとする4つの被爆遺構は、平成25年8月1日に国の登録文化財となりました。秋野参議院議員が国の予算委員会で質問したことに始まり、市議会で推進してまいりました。被爆70周年である来年に、世界遺産を見据えた指定文化財とするために、市議会で、意見具申を早期に行うように質問し、平成28年1月末に意見具申を行うとの回答を得ました。

さらなる早期実現のために、多くの皆様の署名活動への支援を行ってまいります。